

会員のメリット実現に期待 新会長に大野氏(大野建設) 神奈川県森林土木建協



神奈川県森林土木建設業協会(会員59社・山本善一会長)顔写真左は25日、箱根湯本の旅館「吉池」で第54回総会を開催し、決算報告などを承認するとともに、新会長に大野治雄氏(顔写真右・大野建設)を選出した。山本会長はあいさつの中で、「会員にとつ

てメリットのある協会を目指して活動してきた」と前置きし、「一般社団法人化や県との災害協定締結などでの道筋が開けてきた。今後は各支部が各地区県政センターと災害協定を締結することで、インセンティブ獲得の見通しとなった。私の永年の望みが実現する

運びとなったことを機会に、次にバトンタッチしたい」と会員のこれまでの協力に感謝した。同会長は在任中、創立50周年を記念して写真コンクールを開催したり、自民党農林部会長の小泉進次郎衆議を招いて講演会を開いたりして意欲的な活動を展開した。

総会はこの後、来賓として招かれた神奈川県森林協会の野口高専理事長と全国森林土木建設業協会の竹中三成事務局長が壇上に立ち、それぞれの立場から同協会を激励するあいさつを行った。

議事では、平成28年度事業と決算が可決された後、任期満了に伴う役員の変更に移り、各支部から推薦された理事の互選で、新会長に大野治雄氏の就任が決まった。大野新会長は「前会長が立派な道筋を作ってくれたので、理事、役員、会員の皆さんの協力で、事業計画に沿って粛々と進めたい」と力強い抱負を語った。新年度は、各支部と各県政総合センターとの災害協定締結、治山林道パトロール、県環境農政局との技術研修や意見交換、会員拡大活動、災害防止活動などを行う。いのち貢献度指名競争入札に同協会会員が指名されるなど、会員としてのメリットが感じられる団体になる活動の展開が期待される。

新役員は次の通り。

- (敬称略)
- ▽会長 大野治雄 (大野建設)
- ▽副会長 勝俣昭彦 (箱根建設)、田代房雄 (静和建設)
- ▽理事 渡邊徹 (渡辺組工業)、勝俣徳彦 (勝俣組)
- ▽理事 柏木聡三 (高崎建設)、小山和男 (小山設備)
- ▽監事 上村利昌 (上村興業)、磯部春男 (磯部組)
- ▽相談役 山本国孝 (山本組)、山本善一 (山清川建設)、高崎久幸 (善一)

優良技術者らを表彰

神奈川県森林土木建設業協会は、通常総会に先立って優良現場代理人の表彰式を行った。県環境農政局で高い評価の仕事を仕上げた技術者を表彰するもの。「山間僻地の困難な現場で施工管理、技術管理に努力し、優秀な成績を上げた」とは他の模範と認められる。その功績を称える」として、山本会長から表彰状が贈られた。

今年度の受賞者は次のとおり。(敬称略)



山本会長と記念撮影する優良現場代理人

- 伊東和敏(勝俣組)、内藤正洋(健伸工業)、中峯昌治(三和建設)、朝倉三博(静和建設)、立柳正徳(東海林工)